

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36724
事業名	橋りょうの長寿命化修繕事業					
評価担当課	所属名	建)土木部 道路維持課				
	課長名	石川 英俊	担当者名	若林 裕也	電話番号	011-211-2632
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	補修工事を行う事で、市民及び道路利用者の安全・安心な交通を確保している。			
		長期	将来にわたり、安全・安心な道路機能を維持すると共に、計画的かつ効率的な補修工事を行い、ライフサイクルコストの縮減を図る。			
	取組内容	1巡目点検結果を受け優先順位の見直しを行い、令和2年9月に改定した「札幌市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、R2からR6の5年間で180橋の橋梁補修工事を行う。				
	実施結果	41橋の補修工事を行い、うち38橋完了。(残り3橋は翌年度に継続実施)				
事業実施における工夫点	・補修実績及び点検結果を橋梁管理システムに反映し、修繕対象橋梁を選定することで、効率的な補修工事を実施している。 ・小規模橋梁については、複数組み合わせることで経費削減を図り、効率的な補修工事を実施している。					
対象者	市民及び道路利用者	開始	平成22年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	道路法					
他都市の状況	全国の自治体においても、計画を策定し、補修工事に取り組んでいる。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	5,310,264	3,542,000	3,937,613	3,851,060	
うち特定財源	4,144,468	3,352,784	2,222,784	3,653,436	
人工	38.0	19.0	38.0	24.0	
人件費	273,600	136,800	273,600	172,800	
計(事業費+人件費)	5,583,864	3,678,800	4,211,213	4,023,860	
事業費の内訳	令和3年度決算	橋梁補修工事等(補修工事:41橋、実施設計:27橋):3,937,613千円			
	令和4年度予算	橋梁補修工事等(補修工事:39橋、実施設計:39橋):3,851,060千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	補修を完了した橋梁数()内は累計		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		28橋(234橋)	34橋(268橋)	38橋(272橋)	38橋(310橋)
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	41橋の補修工事を行い、うち38橋完了。(残り3橋は翌年度以降に継続実施)			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	計画において、橋梁の重要度や健全性に基づき対象橋梁を選定し、補修時期が一時期に集中しない様、年度毎に橋梁数を平準化している。 また最新の点検結果を基に、著しい損傷が確認された橋梁や劣化の進行が確認されない橋梁については、随時対象橋梁の入れ替えを行っていく。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	補修工法の統一化を図り設計の簡略化を行っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	計画に基づき、補修工事を実施する事で安全・安心な交通を確保している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	・利用実態の把握、地元調整や関係機関協議を進め、集約化・撤去に向けた検討を行う。 ・令和12年度以降の長期計画10力年においては、修繕対象橋梁の70%が小規模橋梁となり、工事規模の確保が課題となることから、効率的な維持管理を行うための発注手法等について検討していく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし。			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	点検結果と維持管理レベルを照らし合わせた上で補修対象橋梁を選定し、計画的に補修を実施することで、道路利用者の安全・安心を確保している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 優先順位の見直しを行った補修対象橋梁について、着実に補修工事を実施していく。また、集約化・撤去に向け、利用実態の把握、地元調整や関係機関協議を進めていく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 計画に基づき、必要額の確保に努める。			見直し効果額